

シリーズ私の3しい⑧「佐世保の楽しい」(森きさら編)

市民一人一人に、佐世保の3つの「しい」(美しい、楽しい、美味しい)を持ってもらい、PRしていただく「させば観光3しいGO!作戦」。今回は「佐世保の楽しい」で3番目にご意見が多かった、森きさらを紹介しします。

- 森きさらは四季折々の花々が迎えてくれます。ペンギンやキリンも加わり大人も楽しめるし、曲もいいですね。(65歳・男性)
- 数十年ぶりに森きさらへ行きました。大人になっても楽しめました。(50歳・女性)
- ペンギン館はもちろん、モグラの部屋では「モグラがどこから出てくるんだらう〜!？」とワクワクしました。今度は、キリンのハヤト君と、いとちゃんに会いに行きたいと思います。(48歳・女性)
- 森きさらは親子で楽しめる素敵な場所です。(41歳・女性)
- 森きさらのペンギンさんが空を飛んでいて楽しいです。(5歳・女性)



ことしも「私の3しい」を募集します!
昨年に引き続き、私の佐世保の「美しい、楽しい、美味しい」を募集します。市役所、中央保健福祉センター、各地区公民館などに応募用紙を設置していますので応募ください(6月30日⑩まで)。詳しくは市HPをご覧ください。

関西佐世保会(佐世保ファンクラブ関西)のご案内



「ふるさとを思う熱き心は皆同じ」をスローガンに、ふるさと佐世保を愛し、懐かしむ関西在住の佐世保出身者や佐世保近郊(西海市、平戸市、東彼杵郡)の仲間が集まり「関西佐世保会」を結成して、ことし5月で5年目を迎えます。毎年5月には総会を行っており、100~150人が出席してふるさとの言葉での会話を楽しんでいます。また市長や市議会議長、観光コンベンション協会も参加し、佐世保の近況や将来の展望等を紹介していただいています。

関西でのふるさと佐世保の情報発信基地として、積極的に観光情報などを伝えていきたいと思っておりますので、関西にお住まいの知人に入会をお勧めください。

活動内容など

- 関西佐世保会総会(毎年5月に開催)
- 淀川河川敷で開催される「ふるさと祭りイン関西」(関西大阪長崎県人会主催)に参加し、佐世保物産の販売を行う
- 会員には定期的に「広報させば」を送付

第5回関西佐世保会記念総会を開催します

日時 5月31日⑩11時30分受け付け開始
場所 道頓堀ホテル(大阪市中央区道頓堀2-3-25)

⑩関西佐世保会事務局(田中さん)

☎072-828-4477(自宅)、090-4768-4034(携帯)

人の動き

4月1日現在

- 総人口 252,594人(-1,418人)
男性 118,457人(-854人)、女性 134,137人(-564人)
- 世帯数 105,435世帯(-203世帯)
※3月中の動き
転入 2,264人、転出 3,582人、出生 192人、死亡 292人

させば市政だより

- テレビ
NBC 土曜 9時25分~30分、KTN NCC 土曜11時40分~45分
N1B 日曜 6時30分~35分
- ラジオ
NBC 日曜 9時25分~30分、FM長崎 火曜 9時5分~10分
FMさせば 火曜10時30分~35分・日曜 9時30分~35分
- 新聞 長崎新聞 毎月第2・4火曜

お詫びと訂正 平成27年4月号24ページ内のお知らせ「市営バス1日乗り放題」の問い合わせ先に「交通局業務課☎25-1111」とあったのは「交通局業務課☎25-5111」の誤りでした。交通局業務課からお詫びして訂正します。

させば景観グッドケアコンテスト 受賞物件を紹介しします

「させば景観グッドケアコンテスト」とは、佐世保市景観条例などに基づく手続きを完了した物件の中から、特に優れた景観形成に寄与しているものを表彰するものです。今回は、昨年度に実施した第1回目のコンテストで見事受賞した7物件を紹介しします。



①させば五番街(グランプリ、新港町) ②白い観覧車(準グランプリ、ハウステンボス町) ③特別養護老人ホーム博仁荘(準グランプリ、上原町) ④西海橋コラソンホテルチャペル(奨励賞、針尾東町) ⑤特別養護老人ホーム光の子(奨励賞、新行江町) ⑥光の子保育園(奨励賞、上原町) ⑦赤木学園男子棟(奨励賞、赤木町) ⑧3月24日に開催した表彰式に出席した施主・施工業者など関係者の皆さん

⑩まち整備課 ☎24-1111

徳育通信 38

自然に親しみふるさとを愛する心を育てる

「ふるさとの山に向ひて言ふことなしふるさとの山はありがたきかな」と石川啄木は歌いました。私も小学1年生の歓迎遠足で、6年生に手を引かれて登った山や、中学時代に友達と元気に駆け登った烏帽子岳の山頂から見た佐世保の市街地や港の情景が、昨日のこのように鮮明に思い出されます。60数年後の今も、佐世保が理屈抜きに好きなのは、子ども時代に親しんだ山や川や海と、その時の友達や先生の記憶が重なってそうさせているようです。

私は今も佐世保川周辺をよく散歩します。満潮時には佐世保署の前までボラ、チヌ、スズキが上がってきます。春先にはシロウオ、初夏にはアユが上り、フナ、ハヤは全域

にすんでいます。河原にはサギ、イソヒヨ、セキレイ、カワセミなどの野鳥もたくさんいます。町中に豊かな自然が息づいている佐世保を大事にしたい気持ちが湧いてきます。現代の子どもたちにとって、ふるさとの山と川は将冠岳、愛宕山、赤崎岳、隠居岳、花高山、佐々川、相浦川、佐世保川、日宇川、小森川などでしょうか。

大人が子どもたちをできるだけ身近な自然に誘い、小さな発見と感動を体験させることが、やがて「故郷とそこに住む人々を愛する心を育む」と私は信じています。

佐世保市青少年育成連盟会長 日浦 照義

※この徳育通信を切り抜いてノートに貼り、「徳育ノート」として家庭で保管しましょう!